

令和7年度第3回小金井市気候市民会議

～市への政策提言をとりまとめよう～

令和7年9月6日（[土](#)） 13：30～（受付開始13：00）
市民会館（萌え木ホール）

いかそうみどり 増やそう笑顔 つなごう人の輪



本日の流れ

- 13：30～ 第3回気候市民会議 開会
- 13：35～ 第2回小金井市気候市民会議の振り返り
アンケート調査結果概要
- 13：55～ 提言書（案）たたき台について
- 14：05～ グループワークの説明
- 14：15～ グループワーク「提言書（案）の作成」（各グループで適宜休憩）
- 15：35～ 休憩【10分】
- 15：45～ 提言書（案）の共有【各グループ 5分程度】
- 16：10～ 提言書（案）手交式（小金井市長 白井 亨）
- 16：15～ 白井市長からのメッセージ
- 16：20～ 集合写真の撮影
- 16：25～ 事務連絡、第3回気候市民会議 閉会
- 16：30 第3回気候市民会議終了

第3回小金井市気候市民会議 開会

第2回小金井市気候市民会議 の振り返り

第2回小金井市気候市民会議の振り返り

第2回小金井市気候市民会議の開催概要

グループ テーマ	A「再生可能エネルギー・省エネルギー」 B「公共交通・移動手段（EV化、自転車など）」 C「ごみの減量化とリサイクル」 D「緑地の保全・創出」 E「意識啓発と教育・学習、情報発信とコミュニティ」
日時	令和7年8月2日（土曜）13時30分～16時45分
会場	市民会館萌え木ホール（商工会館3階）
参加者	無作為で選出された小金井市民 17名
スタッフ	小金井市職員、エヌエス環境株式会社職員 11名

アンケート調査結果概要

(配布資料による説明)

提言書（案）たたき台 について

提言書（案）たたき台の構成

はじめに

1. 小金井市気候市民会議の概要

（１）小金井市気候市民会議の目的

（２）実施体制

（３）参加者

（４）気候市民会議の実施状況

2. 小金井市気候市民会議から脱炭素化に向けての市民意見

（１）再生可能エネルギー・省エネルギー

（２）公共交通・移動手段（EV化、自転車など）

（３）ごみの減量化とリサイクル

（４）緑地の保全・創出

（５）意識啓発と教育・学習、情報発信とコミュニティ

3. 小金井市気候市民会議に参加した感想

再生可能エネルギー・省エネルギー

きっかけづくりによる行動変容の促進①

市民	・ 日々の暮らしの中でエネルギーを意識し、エネルギーを賢く利用するように再エネ・省エネを意識する ・ エネルギーと地球温暖化に関する理解を深め、再エネ・省エネ行動のネガティブイメージを払拭し、自分ごととして考える ・ 地球温暖化の問題や気候変動への影響を自分ごととして考え、積極的に情報収集を行う ・ 電気使用量の見える化を行うとともに、周囲と比較を行うことで、再エネ・省エネを実施するための動機づけを行う
事業者	・ 電気料金を時間帯で変更することで、電気需要の最適化と市民における取組の促進を図る ・ 地元企業と市の連携による再エネ・省エネに関する取組のPRを実施するとともに、再エネ・省エネ設備の導入について知れる窓口等を設置する

再生可能エネルギー・省エネルギー

きっかけづくりによる行動変容の促進②

市（行政）	・再エネや省エネに関する取組について、分かりやすい情報による周知を図る ・市のホームページについて、カーボンニュートラルに関する情報を一括整理したプラットフォームの作成を検討する ・広告宣伝車等の活用により、幅広い世代の市民や事業者に対して、再エネ・省エネに関する普及啓発を図る ・教育機関と連携して、公共施設を活用して小中学生にカーボンニュートラルの取組を体験してもらうことで意識啓発を図る ・江戸東京たてもの園に再エネ・省エネ住宅に関する展示を行うことで、周知啓発を図る
教育機関 その他	・幼稚園や小学校、中学校において、ゲーム感覚で再エネ・省エネについて学ぶ機会を創出する ・高校や大学において、再エネ・省エネについてディスカッションを行うことで、地球温暖化の問題や気候変動への影響を改めて自分ごととして考える機会を創出する ・自治会や町内会などにおいて、近隣大学の学生による再エネ・省エネに関する勉強会（エネ育）を実施する

再生可能エネルギー・省エネルギー

再エネ・省エネ設備の導入促進①

市民	・ 電化製品を使用する時や更新を行う際には、省エネを意識するとともに、どのような効果があるかなど更なる情報収集を心がける
事業者	・ 家電量販店等において、再エネ・省エネ設備を展示し、効果を体験してもらうことで、再エネ・省エネ設備の導入促進を図る ・ ZEBやZEHによる効果やメリットについて情報提供を行うとともに、新築・改築時の際にZEB・ZEH化を促す

再生可能エネルギー・省エネルギー

再エネ・省エネ設備の導入促進②

市（行政）	・市のまちづくりの計画にあわせて、市のシンボルとなる施設に再エネ・省エネ設備を導入することで、普及啓発を図る ・太陽光発電設備や省エネルギー機器に関する効果や導入方法などについて、市ホームページ等で情報提供を行う ・地域の再エネ・省エネ事業者と連携を図るとともに、広域調達や業者間連携による再エネ・省エネ設備導入に向けた取組を検討する ・市内で再エネ・省エネを実践している優良事業者へのインセンティブや助成制度などにより、他事業者における取組の促進を図る ・温室効果ガスを排出しない移動方法への切替に向けて、自転車利用をしやすい環境の整備を行う ・小型モビリティのシェアサービスの普及を図るとともに、コミュニティバスとの連携による公共交通の利用促進を図る
教育機関 その他	・東京農工大学で設置している太陽光発電設備について、市と協働による取組の周知啓発を図る ・市民の目に触れやすい施設や場所で再エネ・省エネに関するイベントを開催する

公共交通・移動手段（EV化、自転車など）

電動車への切替促進

市民	・ ハイブリッド車や電気自動車などの電動車への切替を検討する
事業者	・ タクシーなどの運送業者において、電気自動車などの電動車への切替を検討する
市（行政）	・ 電気自動車の利用促進に向けて、市内の電気自動車充電設備の充電を図る ・ 電気自動車とプラグインハイブリッド自動車への補助金制度の周知を図るとともに、補助金の利用状況や需要に応じて対象車両や予算の見直しを行う

公共交通・移動手段（EV化、自転車など）

公共交通の利用促進

市民	・店舗で実施している配送サービス等を活用することで、自家用車の利用を控え、公共交通での移動を心がける
市（行政）	・コミュニティバスの運行状況や需要にあわせて、運行本数や経路の見直しを行う ・コミュニティバス運行状況について、乗り換え検索アプリなどとの連携を進めていく ・コミュニティバスについて、無料回数券の配布など、幅広い世代の利用を促す施策を検討する
教育機関 その他	・公共交通の利用を促す物語を作成し、幼稚園や小学校などの教育機関において、読み聞かせ等を実施する

公共交通・移動手段（EV化、自転車など）

温室効果ガスを排出しない移動手段等への切替

市民	・ オンラインショップや宅配サービスなどの活用することで、自家用車の利用を控えるように心がける
事業者	・ オンラインショップの注文への対応については、まとめて配送するオプションを設け、利用者への活用の呼びかけを行う ・ 市内におけるシェアサイクルの設置個所や台数について、利用状況や需要を踏まえた充実を図る ・ 市内における自転車利用の状況や需要を踏まえ、採算性を確保した駐輪所の設置を検討する
市（行政）	・ 自転車利用の促進に向けて、駅周辺以外への駐輪所の充実を図る ・ 自転車の安全な利用に向けて、自転車レーンの拡幅や充実を図る ・ 歩行による移動を促すために、安全で快適な歩道整備を行うとともに、地下道の設置等を検討する

ごみの減量化とリサイクル

生ごみ・フードロス削減の推進

市民	・ 家庭における食品ロスの量に意識を向け、必要な分の購入や食品ロスの少ない調理方法等を心がける ・ 分別先が分からないもの（例えば 落葉や土など）に関する紹介先を見えるところに表示することで分別意識を高める
事業者	・ 食品を取り扱う商店・飲食店については、フードロス対策や生ごみの有効な処理に長けた事業者との連携を進める
市（行政）	・ 食品を取り扱う商店・飲食店に対して、フードロス対策や生ごみの有効な処理に長けた事業者の仲介を行う ・ 生ごみ処理機の提供や貸出等を実施する
教育機関 その他	・ 給食から発生している食品ロスの量を見える化するとともに、その活用を進め、取組内容について公表を行う ・ 家庭科の授業における調理実習やモノづくりを行う授業などについて、発生したごみの分別まで教育を行う

ごみの減量化とリサイクル

市民団体等との連携強化によるごみ減量化の推進

市（行政）	・ 市民活動団体や関係団体に小金井市地球温暖化対策地域推進計画の概要版を配布や説明化を実施することで、市の取組の周知を図る ・ 市民団体と協働した取組の検討や、市民団体の取組への参加や支援を進めていく
-------	---

リチウムイオン電池等の危険物の適正な処理の推進

市民	・ 電池・バッテリーなどの廃棄については、その危険性を理解するとともに、他のごみと分かりやすく分別を行う
事業者	・ 商品の購入者には、廃棄する際の注意点等をあわせて周知する ・ リチウムイオン電池等の危険物などについて、学校などの適正な廃棄方法の説明を行う
教育機関 その他	・ リチウムイオン電池の危険性や被害について、教育を行うとともに、適正な廃棄方法の明示を行うことで、周知を図る

ごみの減量化とリサイクル

分別に関する意識の向上と取組の促進

市民	商品やサービスのライフサイクル全体を通して排出される温室効果ガス排出量が表示されているカーボンフットプリント商品などの購入に努める
市 (行政)	- 分別の方法をわかり易くすぐに見られるように、小金井市ごみ分別アプリの認知度の向上を図っていく - 紙媒体で確認される方向けに持ち運んで確認できる手帳サイズの資料などの作成を検討する - ごみ分別の情報発信に適した媒体について検討を行うとともに、情報発信回数の向上や、発信内容について時期や概要の告知を行う - ごみの分別や減量化による温室効果ガスの削減効果を明示するとともに、分別後のごみがどのようにリサイクルされているのかを公表することで、市民・事業者の意識向上を図る - 市の計画や分別に関する概要について、説明会を実施する - 市民・事業者が必要とする市の情報に、市が伝えたい情報をあわせて掲載することで、分別や適正な処理に関する認知度の向上を図る
教育機関 その他	小金井市公共施設予約システムにごみの分別や処理に関する情報をあわせて掲載することで、施設利用者への周知啓発を図る

緑地の保全・創出

家庭における緑化の推進

市民	・ 建物の省エネ化や室外機の遮熱にもつながるグリーンカーテンを設置することで、家庭における壁面緑化を行う
事業者	・ 市と協働してグリーンカーテン設置の支援事業を行う
市（行政）	・ 家庭における緑化を促進するために、グリーンカーテン設置に使用する植物の苗や種の配布を行う ・ 家庭菜園ワークショップを開催する際には、市内の植木屋、農家、JAなどと協働して講師の派遣を行う
教育機関 その他	・ 家庭における敷地内等の緑化に向けた家庭菜園ワークショップを開催する

緑地の保全・創出

地域における緑化の推進

事業者	・市と連携した地域の緑化率の向上に向けて、屋上や壁面などの事業所の敷地内における緑化を行う
市（行政）	・市民農園の利用促進に向けた補助制度の実施などにより市の保有地における緑化を推進する ・市民が快適に歩行できるように、散歩コースや散策コースをメインに街路樹の更なる設置により日陰を創出する ・集合住宅における緑化を促進するために、マンション開発事業者と連携した取組や助成制度などを検討する
教育機関 その他	・市内における外出の快適性の向上に向けて、学校の課外活動と連携した植樹を行う

緑地の保全・創出

市内における緑地の保全

市民	・ 草むしりや水やりなどの地域の緑化維持活用に積極的に参加するとともに、落葉等のごみ拾いのボランティアに参加する
事業者	・ 市内で開催する緑化に関するイベント情報の提供を行う ・ 小金井ボランティア・市民活動センターと協働した情報発信の仕組みの構築を検討する
市（行政）	・ 今ある街路樹について、葉の割合をふやすために、枝を正しく切るなどのメンテナンスを行う ・ 公園の整備や樹木のメンテナンスを行うことで、熱中症対策としての日陰スペースの創出を行うとともに、デジタルサイネージの設置による情報発信を行う

意識啓発と教育・学習、情報発信とコミュニティ



情報発信の工夫とコミュニティ形成の促進

市民	・ 目的意識や興味がある分野について、小さなのつながりを作ることで、コミュニティ内での情報交換を心がける
市（行政）	・ スタジオジブリなどの地元企業との協働やインフルエンサーの活用などによって、幅広い世代や対象への理解促進を図る

意識啓発の推進

事業者	・ 教育機関との連携の強化を図るとともに、施設の改修や設備の導入に関する情報交換や市民参加型のプレゼン大会を開催し、取組内容の共有を図る
市（行政）	・ 小金井市内における電気使用量について公表を行うとともに、市民・事業者が個別に電気使用量を見える化していくための情報提供を行う ・ カーボンニュートラルに向けた取組への意識向上を図るために、小金井市ポイントカード「さくら」を活用した脱炭素な取組へのポイント付与等のインセンティブを検討する

意識啓発と教育・学習、情報発信とコミュニティ



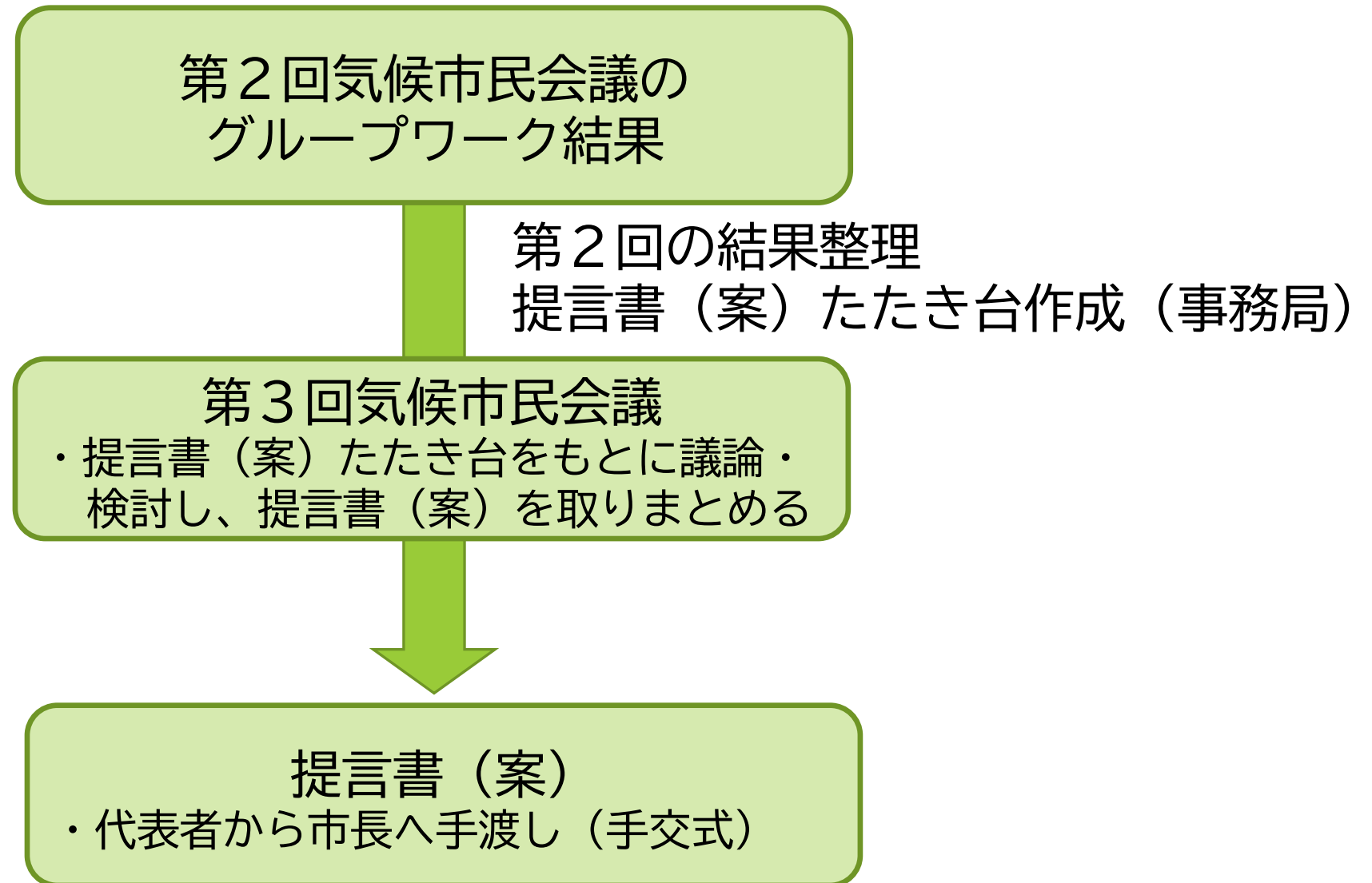
環境教育の強化と学習機会の創出

市民	・ 教育機関や小金井市内で行われる環境活動に積極的に参加し、意識を高める
事業者	・ 環境意識の向上に向けて、地域の子ども会などの地域団体とタイアップした企業の見学会や地域における取組の説明会を実施する
市（行政）	・ 環境問題に関する説明や取組の紹介について、教育機関と企業等の提供側とのマッチングに関する支援を行う ・ 野川探訪や小金井公園で開催するイベントなどに小金井市が開催する環境イベントへの参加を促すため、参加者へのポイント付与等を検討する
教育機関 その他	・ 小中学校や高校、大学など、各教育機関における連携の強化を図ることで、自然現象と科学的に考えられる「小金井の子」の育成に取り組む ・ 各小中学校で小金井市内におけるテーマを決めて、環境学習を行い発表することで、子どもの頃からの小金井市への理解の醸成を図る ・ 大学の各学部やボランティアサークルが市と協働してカーボンニュートラルに向けた説明会やフィールドワークを実施する

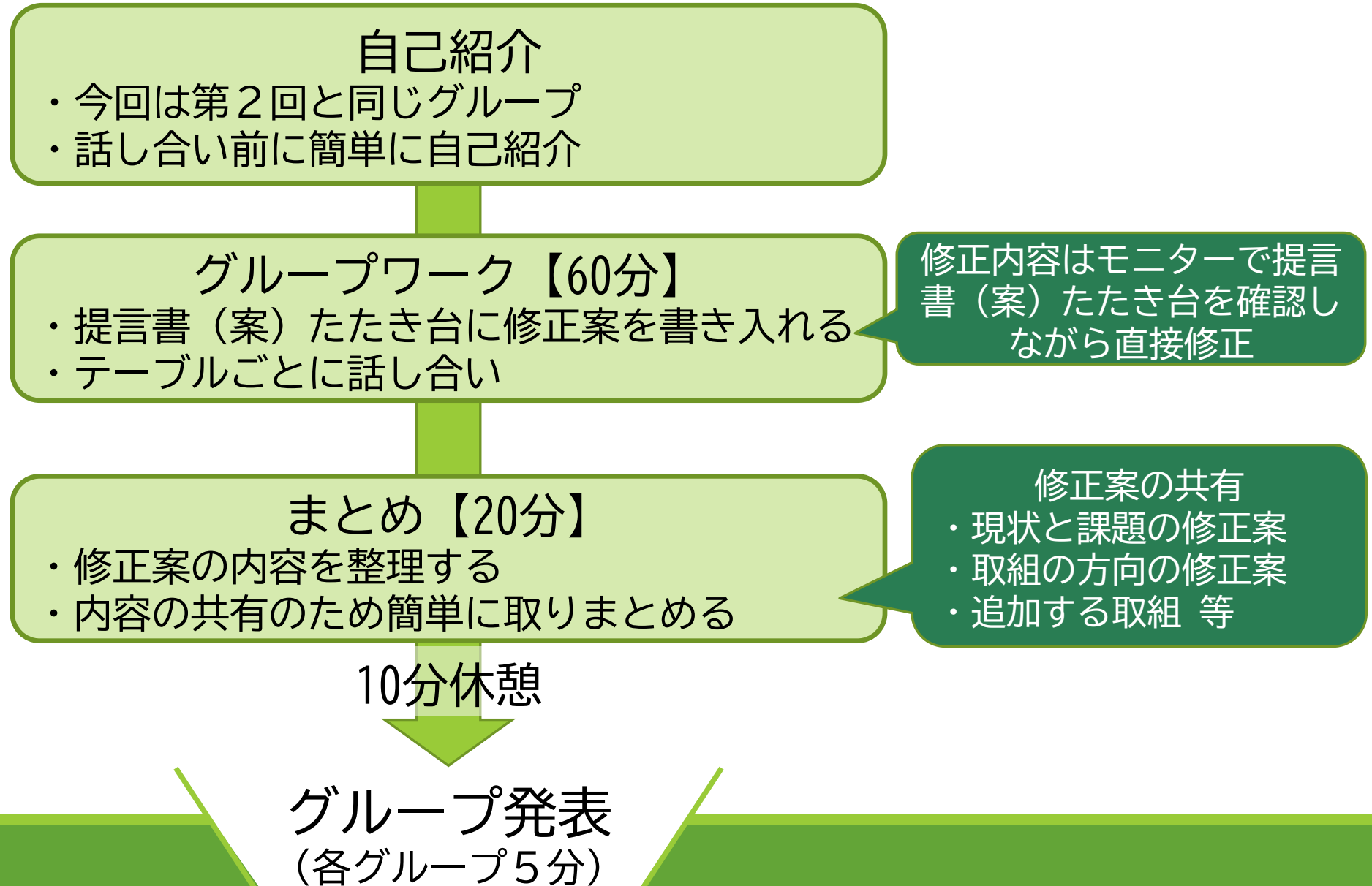
市への政策提言をとりまとめよう



提言書（案）作成の流れ



グループワークの流れ



各グループのテーマ

□ グループAテーマ

「再生可能エネルギー・省エネルギー」

□ グループBテーマ

「公共交通・移動手段（EV化、自転車など）」

□ グループCテーマ

「ごみの減量化とリサイクル」

□ グループDテーマ

「緑地の保全・創出」

□ グループEテーマ

「意識啓発と教育・学習、情報発信とコミュニティ」

まずは自己紹介

テーマごとに修正案をについて話し合いを進めましょう！

グループワーク

市への政策提言をとりまとめよう

14：15～15：15

対話で出てきた修正案をもとに、
内容を共有できるように整理しよう！

グループワーク

修正案の内容の取りまとめ

15：15～15：35



休憩

15 : 35 ~ 15 : 45

提言書（案）の共有

グループごとに5分程度



提言書（案） 手交式

白井市長からの メッセージ

集合写真の撮影

第3回気候市民会議 閉会



ご参加いただき
ありがとうございました